



10年分の「ありがとう」をみなさまに



設立10周年に寄せて

名誉会長 埼玉県知事 上田 清司

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会が、設立10周年を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。また、協会の活動に携わってこられた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会は、県内唯一の障害者スポーツの統括団体として平成16年12月23日に設立されました。以来、障害者スポーツ振興の中核的組織として、県障害者スポーツ大会「彩の国ふれあいピック」の開催や、全国障害者スポーツ大会への県選手団の派遣など、県の障害者スポーツ振興を目的とした事業に御協力をいただいております。

また、協会の自主事業として、特別支援学校などに通う障害者の方がプロ選手や高校生などとふれあいながらスポーツを楽しむ「ふれあい地域振興事業」や、世界を目指すトップアスリートの育成、社会参加の推進を目的とした「世界にはばたけ！彩の国選手育成強化事業」などにも積極的に取り組んでおられます。

塩浦綾子会長をはじめ役員及び職員の皆様による、障害者の社会参加促進への長年にわたる御尽力に、深く敬意を表します。

さて、平成23年に制定された「スポーツ基本法」において、はじめて「障害者スポーツの推進」が規定されました。また、5年後の2020年には、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しています。

今後、障害者スポーツの環境整備を一層進めていくことが求められており、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会が担う役割はますます重要になってまいります。

私は、人間は誰もが無限の可能性を秘めており、たとえ障害があっても、本人の努力とそれを支える人たちのサポートがあれば、夢をかなえることができると信じています。そして、障害者がスポーツを通じて夢をかなえ、豊かな生活を送れるよう、より一層、協会の活動を支援していきたいと考えております。

どうか、これからも障害者スポーツの振興と協会の更なる発展のために、皆様の御支援、御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



障がいのない人はスポーツをした方がよいが、
障がいがある人はスポーツをしなければならない

会長 塩浦 綾子

当協会は、設立から10年を迎えることができました。これもひとえに、正会員である各競技団体や関係団体が、それぞれの立場で積極的な活動を進めてくださったおかげであると思います。さらに、特別会員である市町村、企業や個人でご支援いただいている賛助会員の方々、またたくさんの熱いボランティアの方々、この様に多くの関係者の皆様のご理解とご支援のおかげであり、心より感謝申し上げます。

振り返れば、10年前に第4回全国障害者スポーツ大会が埼玉県で開催されたことが契機になり、多くの関係者が出会い、障がい者のスポーツ組織の設立に立ち上がりました。当協会の設立に際し、前準備として競技団体を組織したことで、その後の協会事業を順調に運営できることになりました。県委託事業の実施はもちろん、自主事業をとおしたスポーツ教室、さらに地域の組織や人が繋がるような取り組みをしながら埼玉県における障がい者のスポーツ環境づくりは着実に成果をあげてきました。

仕事から障がいのある方とのお付き合いはありましたが、設立に立ち上がった人たちの熱意に刺激され、また設立趣旨の中にありました「障がいのある人はスポーツをしなければならない」という言葉に感動し、会長をお引き受けいたしました。人や組織が繋がり、さらに輪が広がり、障がいのある人もない人も含めてスポーツの大切さを享受する社会の大切さを知るとともに、今後ますます発展することを心より願っております。

平成23年にはスポーツ基本法が制定され、これを受けて埼玉県スポーツ推進計画の策定、さらに2020年東京パラリンピックの開催が決定しました。今、まさに障がい者のスポーツ推進のための追い風が吹いているように思います。当協会が、地道に切り拓いてきた地域振興も着実に広がりを見せていますが、障がい者が身近な地域で、今後さらに共生スポーツの実現に向けて、多くの人や組織と連携を図り、地域でのスポーツの実践が広がっていくようお手伝いをするのが当協会の役割であると認識しております。

これまでの10年を振り返るとともに、これからの10年後、20年後を見据え、ますます充実した組織運営が図れるよう取り組む決意でございます。

これまで当協会の運営にご尽力をいただいた皆様方には、重ねてお礼を申し上げますとともに、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。設立10周年のご挨拶とさせていただきます。



お祝いメッセージ

10年前に埼玉県で開催された第4回全国障害者スポーツ大会は、大会の成功とともに埼玉県障害者スポーツ協会の設立という大きな成果がありました。当時、選手の育成・強化や競技運営などに携わった人たちが競技別団体を設立するとともに協会の設立準備にあたりました。あの時の原動力は何だったのでしょうか？そう、夢がありました。障がい者スポーツの発展に向けて皆が動きました。

埼玉県障害者スポーツ協会の良さは、いつも障がい者スポーツのあるべき姿を追いながら、皆が連携して運営にあたっていることです。10年の区切りをお祝いするとともに、ますますの発展を夢みて、これからも皆さんと一緒に力を合わせていきましょう。おめでとうございます。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会
副会長 大久保 春美

貴協会が設立10周年を迎えられるにあたり、謹んでお祝い申し上げます。そして、日頃からの精力的な協会事業運営に感謝申し上げます。

2014年は、3月のソチパラリンピック開催でもたいへん盛り上がり、日本人選手の多くの活躍に、日本中の多くの国民が大きな力をもらったものです。パラリンピックに限らず、普段、各地で活発におこなわれている障がい者のスポーツを通じて共有できる空間・体験・時間を、これからも大切に育てていきたいものです。

FM NACK5としても、地域に根ざし地域に愛される局として、今後も障がい者スポーツのさらなる繁栄と理解に、微力ながらも寄与していければと思っています。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会理事、
株式会社エフエムナックファイブ 石坂 功

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年、誠におめでとうございます。

公益社団法人埼玉県精神保健福祉協会は、精神障がい者の社会参加の促進のため精神障がい者スポーツの普及に努めており、全国障害者スポーツ大会のオープン競技であったバレーボールの普及に取り組み、同競技が正式競技に採用されるに伴い、貴協会に県代表選考会等の運営を担っていただいております。

「第11回全国障害者スポーツ大会おいでませ！山口大会」においては、本県代表チームが全国制覇することができました。

その後、個人競技種目の普及を図るため、グラウンド・ゴルフに取り組んでおり、平成24年度からは彩の国ふれあいピック秋季大会のプログラムとして採用していただいております。

貴協会の益々の発展を祈念するとともに、精神障がい者スポーツのさらなる発展のためお力添えいただきたくお願い申し上げます。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会理事、
公益社団法人埼玉県精神保健福祉協会 斉藤 正美

埼玉県障害者スポーツ協会が10周年を迎えました。

協会運営にご尽力頂いた会長をはじめとして事務局の皆さんに厚く御礼申し上げます。

私達障害者アーチェリー協会は当初からの参加団体ですが、スポーツ協会から多くの援助を賜り会員の強化や増員に努める事が出来ました。

近年は世界にはばたけ彩の国選手育成強化事業により新しい選手の育成に努力しています。全国障害者スポーツ大会への選手派遣、またパラリンピックでは、中国大会に選手が出場するなどの成果を上げています。今後も世界に羽ばたける選手の育成を目指していきたくと思います。

貴協会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会理事、
埼玉県障害者アーチェリー協会 福田 孝一

お祝いメッセージ



一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年、おめでとうございます。この場をお借りして、日ごろ、私ども埼玉県障害者アーチェリー協会に対するご支援、ご協力に感謝申し上げます。

さて、アーチェリーは老若男女、障がいの有無を問わず出来る生涯スポーツです。現在、私どもアーチェリー協会に所属する多数の選手がさいたま市浦和区の埼玉県障害者交流センターアーチェリー場で活動、県・全国・国際大会へ参加しています。

また、アーチェリーは障がいの程度に応じて弓具に若干の工夫を行いますが、障がい者も健常者も同じ条件・ルールで競技を行います。このため健常者とともに活動することが常態となっており私ども協会主催の初心者教室、ミニ大会、県大会などにも障がい者とともに多数の健常者も参加、ノーマライゼーション推進につながっているものと考えております。

さらに、私どもの選手・役員が一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会が中心となっておられる「ふれあいピック大会」から日本の障がい者スポーツの祭典「全国障害者スポーツ大会」への参加をさせていただけることは、障がい者のスポーツ推進、社会参加・復帰に大きな目標を与えていただけるものがあります。また、「世界にはばたけ彩の国選手強化育成事業」は、2020年に東京で開催されるオリンピック、パラリンピックを視野に入れた事業であり、今後国際大会で活躍する選手・役員の強化育成の道筋になるものと考えています。

これら埼玉県障がい者のスポーツ振興とその中核である一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会の事業の拡大や更なるご発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。



埼玉県障害者アーチェリー協会
会長 寺方 克彦



設立10周年にあたって



この度は、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会が設立10周年を迎えられたことに心からお慶びを申し上げます。また、サッカー協会としてこの10年間、スポーツ協会には大変お世話になり、深く感謝申し上げます。

10年前と比べ、レッズカップやアルデイージャカップなどサッカー関係の事業をかなり増やしていただきました。その結果、サッカーに関わりを持つ障がい者の方が増え、それらの大会を目標にして日頃の練習に取り組む姿も見られるようになりました。今後もスポーツ協会の皆様との連携を大切に、より良い環境づくりに取り組んでいきたいと思っております。

おわりに、今後の一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会の益々の発展を祈念申し上げ、簡単ですがお祝いの言葉とさせていただきます。

埼玉県障害者サッカー協会
会長 井上 晴夫



このたびは、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会が設立10周年を迎えられたことに、心からお喜び申し上げます。また、埼玉県障害者水泳協会としても、大変お世話になっており、深く感謝申し上げます。

毎年開催している親子水泳教室では、幼児期からの水に親しむ機会を提供していただき、継続して練習することで、その後「水泳」へとつながっている姿が見られるようになってきました。今後も、水泳を「生涯スポーツ」として「身近なスポーツ」として永く親しんでもらえるように、貴協会とも更に連携を図り、普及・振興に努めてまいりたいと思っております。

おわりに、今後の埼玉県障害者スポーツ協会の更なる発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

埼玉県障害者水泳協会
会長 五嶋 善明





一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年まざまもっておめでとうございます。そして10周年記念特別号発刊にあたって役員一同心からお祝い申し上げる次第です。

常日頃埼玉県障害者ソフトボール協会（埼玉県、さいたま市）の選手はもとより役員、保護者が各種大会に参加ご指導いただき中でも思い出として第4回全国障害者スポーツ大会埼玉開催（埼玉県、さいたま市ソフトボールチーム両チーム準決勝に）が有りました。そして、その後埼玉県障害者スポーツ協会が12月23日に設立。①戸田中央総合病院女子ソフトボールチーム②浦和学院高等学校硬式野球チーム③元プロ野球選手の野球教室との交流等々で守備と打撃についての指導を受け楽しいひとときをすごしたこと、更には、最近では松本副会長のご指導のもと新しいころみとしてハート&スマイルソフトボール大会の開催、これは将来的に一般社会人チームと障がい者チームとの各代表チームが集まっての規模の大きな大会に発展して行くと期待されます。そして障がい者のスポーツに対する健常者の方々のご理解につながる最短距離と思われます。

結びに、今度の埼玉県障害者スポーツ協会の10周年に際し、同時に10周年を迎える埼玉県障害者ソフトボール協会としましても共に祝い、今後の益々のご活躍と更なる発展をお祈り申し上げチームを代表し、祝辞とさせていただきます。



埼玉県障害者ソフトボール協会
会長 山下 晴巳



このたび、埼玉県障害者スポーツ協会が設立10周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、埼玉県内の障がいのある人へのスポーツ活動の提供や環境整備、スポーツ振興に大きく寄与されていることに心から敬意を表するものであります。

2020年東京パラリンピックの開催が決定し、スポーツへの関心は日ごとに高まっており、取り巻く環境が少しずつ変化してきています。このような中、埼玉県障害者卓球協会におきましても、「障がいのある人のスポーツの日常化」を、卓球を通して推進していくとともに、貴協会との連携を図り、埼玉県内の障がいのある人のスポーツ活動の拡大に向け今後も取り組んで参ります。

終わりに、埼玉県障害者スポーツ協会のさらなる発展と皆様の御健勝を祈念いたしまして、お祝いのあいさつとさせていただきます。

埼玉県障害者卓球協会
会長 白石 三重子



祝！設立10周年

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会が、設立10周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

当連盟も、貴協会の10年という節目の年に知的障がい者と身体障がい者が一緒になって組織を立ち上げバスケットボールの普及・強化に取り組んでいく第一歩を踏み出しました。

これから貴協会の益々のご発展とご活躍をお祈りするとともに、貴協会が掲げている「SPORTS FOR EVERYONE」の合い言葉を胸に、引き続き障がいや競技種別の枠を超えて協力させて頂きたいと存じます。



埼玉県障がい者バスケットボール連盟（SDBBA）
会長 成澤 俊幸



お祝いメッセージ

「埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年」に寄せて



設立10周年、おめでとうございます。そして、ありがとうございます。
全国障害者スポーツ大会「彩の国まごころ大会」終了後、「これからの障がい者スポーツはようになるんだろう」という不安を抱えていた私たちにとって、障害者スポーツ協会の設立は大きな希望であったことを昨日のここのように覚えています。

早いもので、あれから10年の月日が経ったのですね。休日も返上し、県内各地を走りまわる皆様の姿には、本当に頭が下がる思いです。

さて、この度のお祝いに際し、相田みつをの詩を送らせていただきます。

「花を支える枝、 枝を支える幹、 幹を支える根、 根はみえねんだなあ」

私は、この詩の「花」は子どもたち、「枝」は保護者、「幹」はコーチ、そして、「根」はスポーツ協会だと思っています。「根」は、陽の当たるポジションではありませんが、縁の下の力持ちとして、なくてはならないものです。皆様には、今後、10年、20年と、子どもたちを支える大きな根であってほしいと思っています。今後ともご支援のほど、よろしくお願ひいたします。



埼玉県障害者バレーボール協会
会長 竹井 彰彦

この度は、埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年、誠におめでとうございます。
心よりお祝い申し上げます。紆余曲折を経ながらも至極丁寧に乗り越えられ、今日に至っておられることに深く敬意を表します。



私共フットベースボール協会といたしましても、そんな皆様に支えていただき、活動を充実してくることができました。重ねて御礼申し上げます。

今後も誰もが楽しめるスポーツの創造を目指し、共に歩みを進めていけたらと存じます。
変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

埼玉県障害者フットベースボール協会
会長 岩田 晃広



設立10周年記念によせて



一般社団法人「埼玉県障害者スポーツ協会」が、設立10周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。日ごろ障がい者の健康の維持・増進、スポーツ精神の涵養、加えて各競技団体との調整等にご尽力を図られるとともに、障がい者スポーツを通じた人材育成及び地域コミュニティの充実に多大な貢献をされておりますことに敬意を表します。

さて、私たち障害者フライングディスク協会も平成12年8月協会を設立し、14年間の月日が経過致しました。これも多くの皆様方に支えられたお蔭であると深く感謝しております。そしてこの間、フライングディスクを通じて、障がい者が積極的にスポーツに親しむ習慣や意欲を培い、生涯スポーツの実現を図る取り組みを貴協会共々展開してまいりました。また、多くの方々との出会いがありました。今後も、貴協会と共に後に迎える「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催に向け、更に充実した運営を引き続き重ねてまいりたい所存です。

結びに、「埼玉県障害者スポーツ協会」がますます御発展されますことを御祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。



埼玉県障害者フライングディスク協会
理事長 鈴木 英彦



お祝いメッセージ

思えば10年前の御協会設立準備会で「障がいがあるからこそ、スポーツを通して社会参加して行くのだ」との大久保春美副会長の力強いお話を伺いました。私自身、障がい者スポーツの手伝いを始めた頃でしたから、大いに励まされ勇気を頂いたことを懐かしく思い出します。

現在、彩の国ふれあいピックや、私共が県内各地で開催する教室事業にも多くのリピーターを迎え大変盛況ですが、ボウリング連盟の皆様からは、参加者の生き生きとした表情にふれ「ボウリングの原点が感じられる」とのお言葉や技術やマナーがレベルアップしたことで「スポーツが息づいている」ともご評価を頂くようになりました。



これもひとえに御協会をはじめ、多くの皆様のご支援の賜と心より感謝申し上げますと共に、今後益々、一人でも多くの人々がさまざまなスポーツを心から楽しみ、社会の中で交友の輪を広げて行けることを願いつつ、障害者スポーツ協会設立10周年をお祝い申し上げます。

埼玉県障がい者ボウリング協会

中村 和人

埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年、まことにおめでとうございます。協会の皆様につきましては日頃よりボッチャに特段のご理解をいただき、大変に感謝申し上げます。

2020年、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。パラリンピックの自国開催は大きな励みとなり、選手達は出場を目指すべく日々練習を重ねています。

そして弊協会も、そうした選手を支援するとともに、ボッチャをより多くの人に知っていただき、楽しんでいただく絶好の機会であると捉えております。一層の普及活動を通して、ボッチャを「一部の障がい者のスポーツ」から「誰もが知っている競技」にしていきたいと考えております。それにより、埼玉県の障がい者のスポーツの理解促進に努めて参ります。

貴協会のますますの発展をお祈り申し上げまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。今後引き続きよろしくお願ひいたします。



埼玉県障害者ボッチャ協会

布川 英之



十年一昔（10年ひとむかし）

埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年心からお祝い申し上げます。彩の国まごころ大会の開催を期に障がい者スポーツの彩の国ふれあい各種大会、教室の開催 情報提供など障がい者スポーツの充実、発展に大きな役割を果たされております。

一口に10年と申しますが、10年の歴史には様々なことが刻まれていることと思います。その一つ一つが会長さんをはじめ理事の皆さんや職員の皆さんの汗の結晶であろうと思いますし、設立以来着実な活動を展開され、立派な足跡を残されてこられたことに感銘を深くしてい

るところでございます。

2020年には東京オリンピック、パラリンピックの開催が予定されております。さらなる多忙を極めるかと思いますが障害者陸上競技協会をはじめ関係諸団体をご指導頂き、次の10年また20年と躍進されることをお祈りいたします。

埼玉県障害者陸上競技協会

会長 小林 貞雄

お祝いメッセージ

「積み重ねよう 努力を」

埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年を迎えられました事を、心よりお喜び申し上げますと共に、お祝い申し上げます。

スポーツはハンディをもちます私たちにとりましては、日常生活上欠かすことの出来ない体力維持向上に必要な事です。寝たきり生活の悲惨さは、考えただけでもゾッとします。少しでも動けるように努力を積み重ねたいと思います。お互いに頑張りましょう。

毎年開催されるスポーツ大会は、パラリンピック等を見て、その素晴らしい運動能力に感心して居りますが、技術向上と体力向上にたゆまぬ血のにじむ様な努力が有って、はじめてあのような素晴らしい演技と記録が出せるのだと思います。

何事も行きづまりを感じた時、それを解決できるのは、物でも無く金でも無く、いわんや人の力に頼っては何も出来ないと思います。自らの力と努力で頑張る以外ないと思います。

「照顧脚下」という言葉が有ります。自分を省みる事を常に忘れない様に、との言葉ですが、日々の反省の中で成功だった所、失敗の所、なぜそうなったか？など、そこを中心に考え訓練を繰り返せばきっと次はうまく出来るように成るのではと考えています。此の世の中全てがうまくゆくものではないと思います。

よく、「あの人は天才だから」と云う言葉を聞きますが、「天才とは 努力の異名である」ともいわれて居ります。努力なくして天才は生まれないと思われまます。人には才能と同時に強い意志も必要と思います。「成功の秘訣は断固とした決意にある」しかり、生半可の考えでは成功の二文字は得る事は出来ないと思います。一つの事を成し遂げようと思うと、大変な努力が必要だと思います。何事も努力の積み重ねと思います。皆様と共に是からの素晴らしい人生に向け精一杯頑張りたいと思います。

共に手を携え前進したいと思います。宜しくお願いいたします。

「成功の二文字を目指し」

社会福祉法人埼玉県身体障害者福祉協会
会長 松本 悦子

設立10周年おめでとうございます。

日頃から障がい者スポーツ指導員の活動に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

私ども障がい者スポーツ指導員が地域における障がいのある方のスポーツを支援する最前線の実行部隊の一つだと考えています。その役割を十分に果すことができることをめざし活動を進めているところです。

ここ数年の障がい者のスポーツを取り巻く社会の変化への対応も含め今後の活動を進めるうえでは指導員のスキルアップや協議会としての方策の検討など課題も山積みではありますが、埼玉県の障がい者スポーツの推進のためには埼玉県障害者スポーツ協会との連携が不可欠だと思います。

今後ともご指導、ご協力よろしくお願いいたします。

埼玉県障がい者スポーツ指導者協議会
会長 河野 章



KOBATON

お祝いメッセージ

お祝いメッセージ

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年、誠におめでとうございます。

貴協会は、平成16年12月の発足以来、本県の障がい者スポーツの振興に尽力され、多くの障がい者にスポーツをする機会を提供し、障がい者の生活の質の向上に貢献されて参りました。

とりわけ社会参加が困難なことが多い精神障がい者にとっては、スポーツはその生活を豊かなものにします。身体障がい・知的障がいに遅れて取り組まれた精神障がい者スポーツではありますが、本県におきましてはバレーボール、グラウンド・ゴルフ、フットサル等が活発に取り組まれております。いずれの競技におきましても、貴協会の多大なる支援を受けつつ活動が行われており、ここに厚く感謝申し上げます。

貴協会の益々の発展を祈念するとともに、今後も精神障がい者スポーツの発展にお力添えくださるようお願い申し上げます。



公益社団法人埼玉県精神保健福祉協会

会長 山内 俊雄

障害者スポーツ協会設立10周年を祝して

このたびは設立10周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

埼玉県手をつなぐ育成会は、昭和27年（1952年）3人のお母さんの呼びかけで結成された全国組織に続いて結成され、平成26年4月には公益社団法人として新たにスタートいたしました。

私たちは知的障がいのある人とその家族が普通の人と同じように権利が守られ、充実した生活とともに地域の中で安全で安心して暮らせることが私たち親の願いです。

スポーツとの関わりは昭和57年に県から委託され、第1回埼玉県精神薄弱者スポーツ大会を真夏8月の上尾陸上競技場で開催して以来第20回大会まで手探りで運営し終了しました。

また知的障がい者の全国スポーツ大会は「ゆうあいピック」として平成4年に第1回東京から始まり平成12年岐阜大会で終了、翌年第1回宮城大会から3障がい合同でスポーツ大会として開催され現在に至っています。

埼玉県の障がい者スポーツに忘れてはならないのは、重田博先生はじめ特体連の貢献が大きかったことです。

また、協会の運営に携わっていただいている塩浦会長はじめ、関係各位に対しまして心より感謝申し上げますお祝いのメッセージといたします。

公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会

理事長 村山 勇治



たくさんのお祝いメッセージ、ありがとうございました
これからも皆さまとともに

「SPORTS FOR EVERYONE」を合言葉に
さらに大きくはばたいてまいります

今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします

2004

12.23 埼玉県障害者スポーツ協会 設立総会、祝賀会

2005

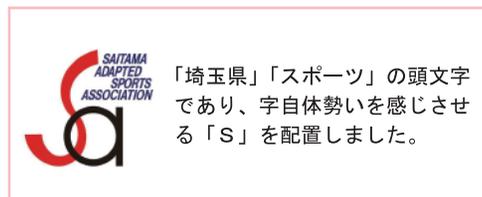
- 1.4 埼玉県障害者スポーツ協会 事務局開設（埼玉県大宮合同庁舎3階）
- 1.15 設立記念事業 トークショー開催
- 3.13 設立記念事業 障害者スポーツ組織・運営マネージメント研修会
彩の国ふれあいピック（春季大会、秋季大会、球技大会）事業受託 開始

2006

全国障害者スポーツ大会埼玉県選手団派遣事業受託 開始
WAM助成金・ふれあいポッチャ事業

2007

彩の国ふれあいポッチャ大会 開始
さいたま市障害者スポーツ・レクリエーション教室事業受託 開始
1.31 理事会において 協会エンブレム（シンボルマーク）制定



2008

親子水泳教室 開始
全国障害者スポーツ大会「チャレンジ！おおいた大会」 サッカー・バレーボール（精神） 出場
浦和レッズハートフルカップスマイルサッカー大会 開始
大宮アルディージャ ORANGE! HAPPY!! SMILE CUP!!!（埼玉県知的障害者サッカー大会） 開始
WAM助成金・知的障害者球技競技育成強化事業

2009

彩の国ハート&スマイル四面卓球バレー大会 開始
全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」 グランドソフトボール 出場

2010

6.1 「一般社団法人」となる
WAM助成金・世界にはばたけ！彩の国選手育成強化事業 開始（2011～自主事業）

2011

ふれあい登山 開始
全国障害者スポーツ大会「おいでませ！山口大会」バレーボール（精神） 優勝
国庫補助事業・埼玉県ふれあい地域振興事業 開始（～2013、2014～自主事業）

2012

ナガセケンコーカップふれあいハート&スマイルソフトボール大会 開始

2013

事務局移転（埼玉県浦和合同庁舎3階）
全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」フットベースボール、車椅子バスケットボール、
グランドソフトボール出場、バレーボール（知的男子）準優勝

2014

全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらば大会」車椅子バスケットボール、グランドソフトボール 出場

一般社団法人 埼玉県障害者スポーツ協会

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階
Tel. 048-822-1120 Fax. 048-822-1121
E-Mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp
HPアドレス <http://sainokuni-sasa.or.jp>

Saitama Adapted Sports Association



一般社団法人
埼玉県障害者スポーツ協会

